

Bコース①【介護と仕事の両立推進事業】

取組の実施状況

企業名	HAIR SALON RENE
所在地	東京都調布市小島町 1-9-3ー 1F
業種	N. 生活関連サービス業、娯楽業
常用労働者数	9
事業内容	美容室経営
ホームページ	無
1 ニーズ調査	
① 実施日	令和 7 年 11 月 27 日
②方法	アンケート用紙全従業員に手渡し配布
② 回収率	対象者（都内勤務全従業員） 9 名のうち回収数 8 名 回収率 88.9%（回収数／対象者）
④調査結果 概要	（調査により明らかになった課題） ①現在の従業員の介護状況・介護対象者の有無 現時点で、日常的に介護を理由として就業制限を行っている従業員はいない。一方で、親や親族が高齢期に差しかかっている従業員は複数おり、介護は「今は起きていないが、身近な将来に起こり得る問題」として認識されている。 ② 今後の従業員の介護見込み アンケートでは、数年以内に介護が発生する可能性を感じている従業員が一定数存在することが確認された。特に、突然の入院や要介護認定など、突発的に介護が始まるケースへの不安が多く、現行の働き方を継続できるか懸念する声が見られた。 ③ 就業規則・介護関係制度の認知状況 介護休業や介護休暇といった制度について、「制度があることは知っているが、内容や使い方までは分からない」と回答した従業員が多数を占めた。特に、「どの段階で会社に相談すればよいのか」「給与や評価に影響があるのか」といった点が不明確であり、制度が十分に“自分ごと化”されていない状況がうかがえる。 ④ 介護と仕事の両立に関する不安 介護が始まった場合について、業務への影響や周囲への負担、急な休暇取得への不安を感じている従業員が一定数存在した。理容業という業態特性上、予約対応や人員配置への影響を気にする声もあり、心理的なハードルが高いことが読み取れる。 ⑤介護が続いた場合の望ましい働き方・社内制度 介護が長期化した場合には、フルタイム勤務に限定しない柔軟な働き方や、短時間勤務・休暇制度を組み合わせた就業継続を望む声が見られた。また、制度そのものだけでなく、「早めに相談できる雰囲気」「会社として支える姿勢の明確化」を求める意見が多い点も特徴である。 （課題） 本アンケート結果から、現時点では介護が顕在化していない一方で、勤続年数が長く、今後 5 年・10 年で介護に直面する可能性が高い職場であることが明らかになった。 制度整備を進めると同時に、「知っている・相談できる・使える」状態をつくるのが、将来的な介護離職防止と安定した店舗運営につながる重要な課題である。
2 プロジェクトチームの設置及び運営状況	
① 設置日	令和 7 年 11 月 20 日

②メンバー	総計 2 名（うち都内勤務の従業員 1 名） （メンバー内訳）社長、業務スタッフ			
③運営状況	開催日	開催時間	検討内容	参加者数
	11 月 20 日	11 : 00-11 : 30	活動内容及びスケジュールの確認	2 名
	12 月 22 日	15 : 00-15 : 30	調査結果概要説明、取組案の提示	2 名
	1 月 16 日	11 : 00-11 : 30	取組案についての意見交換、確定	2 名
3 策定した取組計画（内容及び取組時期）				
令和 8 年 4 月～ 定期的な個人面談の実施（年 1 回程度）				
令和 8 年 5 月～ 介護と仕事の両立に関する研修の実施（年 1 回程度）				
4 経営者・管理職への体験型研修の実施				
有り・無し（いずれかに○）				